

ドラウたれ

メンゾベランザンは悪が笑う街である。ドラウは神に呪われている墮落した邪悪な種族であり、フェイルーンのすべてを憎んでいる。それでも、ドラウには奇妙な魅力がある。彼らは優雅で、影があり、そして危険だ。彼らは魔法と陰謀が輝く地下空洞に住まう一方、気まぐれなデーモンの女神に仕えている。

この章は君に地上世界のはぐれ者ドラウよりも、背徳の都メンゾベランザンを舞台とした悪名高いダーク・エルフをプレイするときのロールプレイと戦術を提供している。

この章には以下の項がある。

- **悪徳都市の邪悪なパーティ:**ドラウのパーティは完全に悪だとされている。それは君のゲームにとって何を意味するだろうか？
- **家系を選ぼう:**この項では君のキャラクターと名家や他の派閥を関連づける案内だけでなく、キャラクターがそれぞれ別の家系に所属したとき起こりうることをいくつか解説している。また、この本のほかの部分で紹介されるキャラクターの背景の概説も含んでいる。
- **ドラウ社会の身分:**身分はドラウにとって何より大切なもので、この項では絡み合った家系と他の派閥の勢力図における君のキャラクターの立ち位置を把握するのに役立つ。それは彼や彼女がその身分で得ることができる利益も含んでいる。
- **ドラウのロールプレイング:**この項ではドラウの策略、腐敗、口車といった役を果たすための助言を与える。



